

平成27年3月17日



## 福岡市無料公衆無線LANサービス「Fukuoka City Wi-Fi」 Wi-Fiと最新の情報発信技術の連動による 緊急時情報発信のデモンストレーション

福岡市では、来街者の利便性向上等を目的として、無料の公衆無線LANサービス「Fukuoka City Wi-Fi」を提供し、順次、拠点を拡大しています。

このたび、日本電信電話（NTT）株式会社のご協力のもと、Wi-Fiの新たな活用シーンを想定した緊急時情報発信のデモンストレーションを、3月20日の「市民防災の日」に実施します。

今後も、情報発信力の強化に向けて、防災面や観光面におけるWi-Fiの利活用について、検討を進めていきます。

### Wi-Fi・デジタルサイネージ・ビーコンの連動による緊急情報の発信

今回のデモンストレーションでは、Wi-Fiと最新技術を搭載したデジタルサイネージ・ビーコンとの連動による、緊急時の情報発信を行います。

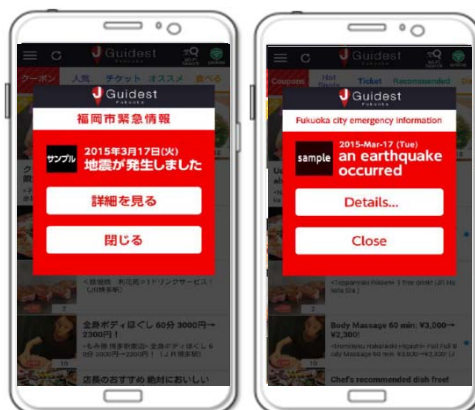
震度5強の地震が発生した想定のもと、デジタルサイネージに緊急情報および近隣の避難所情報・現在地からの経路を表示するとともに、ビーコンと手元にあるスマートフォン・タブレット端末をアプリケーションにより連携させ、端末の画面に緊急情報の詳細を表示します。

また、ビーコンから発信する電波を認識して入手した情報は、手元にある端末のOSの使用言語に応じて表示されますので、災害弱者となりがちな海外からの来訪者の方々にも緊急情報を知らせることが可能です。

#### 【有事発生時の画面推移】



デジタルサイネージに  
緊急情報コンテンツを表示



ビーコンの電波を認識し、アプリが起動。端末画面に、OS使用言語に応じた言語で情報詳細を表示



コンテンツも多言語化し、災害弱者となりがちな海外からの来訪者にも情報を伝えることが可能

## デジタルサイネージ・ビーコンについて

今回採用したデジタルサイネージは「ウェブベースドサイネージ」と呼ばれるWebの仕組みを利用しており（HTML5を採用）、ディスプレイ端末とネットワーク環境だけで情報発信が可能な仕組みとなっています。そのため、スマートフォンのアプリとの連携や、緊急性のある情報のリアルタイム表示が実現可能です。

また、ビーコンは、「Bluetooth® Low Energy (BLE)」という近距離通信技術を採用した小型の電波発信機器で、ビーコンから発信された電波をスマートフォンのアプリが認識することにより、タブレット端末に情報を表示する仕組みとなっています。設置されたビーコン毎に、情報を出し分けることができ、位置情報に基づいた細かい情報発信が可能です。



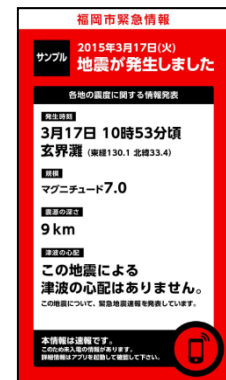
### 【ウェブベースドサイネージ概要図】

コンテンツをHTML5で作成することで、ブラウザが搭載されているテレビやタブレットなどにも簡単に導入可能



通常時  
コンテンツ

ウェブベースド  
サイネージサーバ



緊急時コンテンツを  
リアルタイム表示

緊急事態が発生

サイネージとサーバが  
常時繋がっており、  
スムーズな緊急時コンテンツ  
切替が可能

なお、「3.20 市民防災の日」講演会当日に、会場にてデモンストレーションを実施します。会場へお越しの際には、ぜひご覧ください。

### 【本件に関する問い合わせ先】

福岡市 市長室広報戦略室広報課 白木・花田

電話:092-711-4827(内線 1118) FAX:092-732-1358